

令和7年度 第1回 光が丘中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年5月13日（火） 午後1時30分から午後3時25分まで
- 2 開催場所 浜松市立光が丘中学校 会議室
- 3 出席委員 溝口 玄、笹竹 和行、松井 章泰、森下 智子、實森 浜代、坂井 久司、鈴木 公寿、正久 達、
- 4 欠席委員 高塚 朋宣
- 5 学 校 村松 還（校長）、瀬戸 一志（教頭）、石田 真（CS担当職員）堀部 純子（CSディレクター）
- 6 傍聴者 なし
- 7 会議録作成者 CSディレクター 堀部 純子
- 8 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、松井委員より輪番ではなく副会長が議長を務めるのはどうかとの発言があり、全員異議なくこれを承認したため、次回より松井委員が継続して議長を務めることとなった。本日は、輪番どおり笹竹委員が議長を務めることとなった。

9 熟議事項

- (1) 令和7年度学校運営の基本方針及びいじめ防止基本方針について
- (2) 令和7年度の協議会スケジュール及び内容について
- (3) 令和7年度の目標及び夢育やらまいか事業に対する意見書について

10 会議記録

司会の教頭から、委員総数9人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 令和7年度学校運営の基本方針及びいじめ防止基本方針について

議長の指示により、校長から令和7年度学校運営の基本方針及びいじめ防止基本方針について、資料（9頁）及び別紙「光が丘中学校いじめ対策基本方針」に基づき説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- 光が丘中は複数の学校が合併しており、自分の出身中学がないという住民も多い。地域の住民の思いを大切にしてほしい。（松井委員）
- コロナ禍を経て友人関係が希薄になっている。いじめに関しては自身が知らずに相手を傷つけている場合がある。先生方には早期発見に努めてほしい。（森下委員）
- 先生方も忙しいだろうが生徒の声を聞いて寄り添ってほしい。まなびの教室の利用状況はどうか。（實森委員）

→毎日使う生徒が一人、週一回使う生徒が一人いる。突発的に利用する生徒もおり、心の充電のために活用されている。(校長)

→学校の中で安心できる場所があるのはいいことだと思う。(實森委員)

●光が丘中には教育資源としての自然がある。夢を持って生きる力、学ぶ力をつけていってほしい。(坂井委員)

●最近は「叱る」という行為が難しくなっている。もう少し勇ましい先生がいてもよいのではないか。学習面では、個人差もあるだろうが行き詰っている時に長い目で見てもらえるとよいと思う。(鈴木委員)

●校区が広いので、先生が生徒の生活環境を把握するのが難しいと思う。放課後や休日に友人たちとの交流が少ないことを理解してほしい。(正久委員)

●(正久委員の意見を受けて)先生方が地域を知る研修があればよい。子供を取りまく環境を知ってほしい。目標があるのはよいが、糸の張り過ぎは緊張するのでゆとりもほしい。(会長)

●この教育方針をふまえて協議会として何ができるか考えていきたい。(笹竹委員)

協議の結果、「令和7年度学校運営の基本方針及びいじめ防止基本方針について」は、全員異議なく承認された。

(2) 令和7年度の協議会スケジュール及び内容について

議長の指示により、教頭から令和7年度の協議会スケジュール及び内容について、資料(20頁)を用いて説明があった。

●次回以降、前述の教員の地域研修のように熟議内容が変更になる場合があることをご了承いただきたい。(教頭)

協議の結果、「令和7年度の協議会スケジュール及び内容について」は、承認不要とした。

(3) 令和7年度の目標及び夢育やらまいか事業に対する意見書について

議長の指示により、教頭から令和7年度の目標及び夢育やらまいか事業に対する意見書について、資料(21頁)に基づき説明があり、委員からは、それについて、以下の発言があった。

●一定の金額が拠出されるということだが、教育後援会費とは別で使えるのか。(松井委員)

→一部活動費等、後援会費だけでは賅えないのでこちらも活用していく。(教頭)

協議の結果、「夢育やらまいか事業に対する意見書について」は、全員異議なく承認された。

【その他報告事項等】

- 松井委員から、委員がまんべんなく意見を述べられるよう、事前に会議資料を配布してほしいとの要望があった。教頭からさくら連絡網を利用してあらかじめ配布するとの回答があった。
- 司会の教頭から、次回会議は、令和7年9月26日（金）午後1時30分から会議室で開催する予定であるが、研修のため変更になる場合があり、決まり次第連絡する旨の説明があった。